

令和3年10月13日(水)に開催した令和3年度第6回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 専任教員の採用について

ア 趣旨

事務局から、4月14日の役員会で承認された専任教員10人の採用募集の内、文化政策学部(分野:英語・多文化共生、アートマネジメント)、文化・芸術研究センター(分野:文明観光学)、デザイン学部(分野:デザインマネジメント、グラフィックデザイン)の専任教員公募の採用候補者を選考する面接を実施し、各分野1名、計5名の候補者が決定したので、その採用について意見を求める旨、説明があった。

イ 主な意見・質問

・どの候補者のパブリケーションをみてもほとんどが日本語であるが、このような分野にそもそも国際的な学術誌はないのか。

→英語による論文発表は我々も意識している。多様なバックグラウンドを持ち、国際的に活躍されている方を選んでいる。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(2) 受託事業について

ア 趣旨

事務局から、民間企業から1件の業務委託の申し出があり、デザイン学部教員の監修のもと学生に対する高い教育効果が期待できることから受託したい旨の説明があった。

イ 主な意見・質問

・本学の特色である、実際の社会と関わって事業としてお金が発生するところに学生が関わっていくということは、大変意義があることだと思う。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 令和3年度研究成果発表会の開催について

事務局から、教員特別研究費を活用した研究成果を、地域や学生に広く還元するため、11月4日(木)に研究成果発表会を開催することが報告された。発表の対象は、昨年、一昨年に終了した特別研究の内の6件である。

(2) 2021年度公開講座/シンポジウムについて

事務局から、「ミュージアムは誰とつながっているか」というテーマで芸術文化学科田中裕二准教授がコーディネーターとなる公開講座を11月14日(日)に開催することが報告された。

(3) 本学教員の作品展について

事務局から、本学デザイン学部の山本一樹教授の退任記念作品展を11月13日から28日まで本学ギャラリーにて開催することが報告された。

以上